

## 【イギリス】COVID-19 との共生計画の公表—規制撤廃へ—

海外立法情報課 田村 祐子

\* 2022年2月21日、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連する自己隔離等の規制を撤廃し、COVID-19を他の呼吸器疾患と同様に管理して共生を目指す計画が公表された。

### 1 背景と構成

英国政府はこれまで、COVID-19のワクチン接種を確実に実施していくことで、段階的な規制緩和を進めてきた<sup>1</sup>。2022年2月21日、「COVID-19との共生計画」<sup>2</sup>（以下「計画」）が公表され、同月24日から段階的にCOVID-19関連規制を撤廃し、共生していく方針が示された。計画は、全7章及び1附則から成り、第1章：導入、第2章：COVID-19のデータと影響、第3章：COVID-19との共生、第4章：弱者保護、第5章：レジリエンスの維持、第6章：イノベーションと機会の確保、第7章：法規制の解除、附則：国際比較データで構成される。

### 2 計画の概要

#### (1) 政府目標と4つの原則（第2章～第6章）

政府の目標は、COVID-19を他の呼吸器疾患と同様に管理し、死亡率を最小限に抑えながら、新たな変異種の出現時や免疫力が低下する時期に、国民保健サービス<sup>3</sup>が持続不可能な状況に陥るのを防ぐことである<sup>4</sup>。この目標を達成するため、計画は、次の4つの原則を掲げる。①COVID-19との共生（第3章）：規制を撤廃する一方で、他の呼吸器系疾患への対策と同様、公衆衛生上の助言を行い、より安全な行動を奨励する。②弱者保護（第4章）：予防接種・免疫合同委員会<sup>5</sup>の助言に基づくワクチン接種及び検査の実施。③レジリエンスの維持（第5章）：緊急時の計画、大規模ワクチン接種や検査等、重要な機能を再導入する能力の維持。④イノベーションと機会の確保（第6章）：ライフサイエンス分野への投資等。

#### (2) 法規制の解除（第7章）に示された予定

##### (i) 1984年公衆衛生（疾病管理）法に基づく規制の撤廃

2022年2月24日に、1984年公衆衛生（疾病管理）法<sup>6</sup>を根拠とする2つの規則（地方自治体

\* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2022年3月8日である。

<sup>1</sup> 2021年2月公表の春期計画に基づき、ワクチン接種を進め、同年7月、冠婚葬祭時の人数制限撤廃など、多くの規制を緩和した。Cabinet Office, “COVID-19 Response - Spring 2021 (Roadmap),” 2021.2. GOV.UK website <<https://www.gov.uk/government/publications/covid-19-response-spring-2021>> 次いで、同年9月公表の秋冬期計画に基づき、感染症がまん延しやすい時期の対策を行ってきた。Cabinet Office, “COVID-19 Response: Autumn and Winter Plan 2021,” 2021.9. GOV.UK website <<https://www.gov.uk/government/publications/covid-19-response-autumn-and-winter-plan-2021>>

<sup>2</sup> Cabinet Office, “COVID-19 Response: Living with COVID-19,” 2022.2.21. GOV.UK website <<https://www.gov.uk/government/publications/covid-19-response-living-with-covid-19>>

<sup>3</sup> National Health Service. 税財源による原則無料の国営医療サービス。

<sup>4</sup> Cabinet Office, *op.cit.*(2), p.6.

<sup>5</sup> Joint Committee on Vaccination and Immunisation. ワクチンに関して保健省に助言・勧告を行う組織。厚生労働省「各国における予防接種に係る評価・検討組織」<<https://www.mhlw.go.jp/stf2/shingi2/2r985200000s2dr-att/2r985200000s2m1.pdf>>

<sup>6</sup> Public Health (Control of Disease) Act 1984 c.22. <<https://www.legislation.gov.uk/ukpga/1984/22/contents>>

にイベント規制等の権限を与える 2020 年の規則<sup>7</sup>及び陽性者・濃厚接触者に自己隔離 (self-isolation) を義務付ける 2020 年の規則<sup>8</sup>) を廃止する<sup>9</sup>。これにより、陽性者等の自己隔離の法的義務はなくなる<sup>10</sup>。

#### (ii) 法定傷病手当、雇用・支援手当

2022 年 3 月 24 日に、傷病手当に関する 1982 年の規則<sup>11</sup>及び 2020 年の規則<sup>12</sup>から COVID-19 関連規定を削除する。これにより、COVID-19 による自己隔離を理由とした法定傷病手当の支給は終了する。同日、雇用・支援手当 (傷病による就業困難者で法定傷病手当非受給者が対象) に関する 2020 年の規則<sup>13</sup>の COVID-19 関連規定が失効するため、自己隔離を理由とした雇用・支援手当の支給も終了する。今後、COVID-19 感染者には、1982 年法定傷病手当法<sup>14</sup>及び 2007 年福祉改革法<sup>15</sup>が適用され、他の傷病と同様の手当が支給されることとなる。

#### (iii) ケアホーム立入り時のワクチン接種義務

高齢者等入所施設 (ケアホーム) へ立ち入る者 (入居者家族等) に対しワクチン接種義務を定めた 2021 年の規則<sup>16</sup>を、2022 年 4 月 1 日までに廃止する。

#### (iv) 渡航規制

旅行業界の回復促進を目的として、英国への渡航を規制する 2021 年の規則<sup>17</sup>を、同規則の有効期限である 2022 年 5 月 16 日までに見直す。

#### (v) 2020 年コロナウイルス法

2020 年 3 月 25 日に制定された原則 2 年間の時限立法である 2020 年コロナウイルス法<sup>18</sup>によって有効期限が定められた 40 の規定 (イングランドに適用) のうち、現在有効である 20 の規定を全て失効させる。そのうち、医療従事者の緊急登録 (2020 年コロナウイルス法第 2 条) 等の 16 の規定は、2022 年 3 月 24 日に失効させる。死因として COVID-19 が疑われる場合の死因特定手続の簡略化 (同法第 30 条) 等、公共サービスの提供に関わる 4 の規定は、同年 9 月 24 日までに失効させる。

<sup>7</sup> The Health Protection (Coronavirus, Restrictions) (England) (No.3) Regulations 2020 No.750. <<https://www.legislation.gov.uk/ukksi/2020/750/contents>>

<sup>8</sup> The Health Protection (Coronavirus, Restrictions) (Self-Isolation) (England) Regulations 2020 No.1045. <<https://www.legislation.gov.uk/ukksi/2020/1045/contents>>

<sup>9</sup> 2022 年 2 月 22 日、2 規則を廃止するための規則 (The Health Protection (Coronavirus, Restrictions) (Self-Isolation etc.) (Revocation) (England) Regulations 2022 No.161. <<https://www.legislation.gov.uk/ukksi/2022/161/contents/made>>) が制定され、同月 24 日に施行された。

<sup>10</sup> ただし、政府のガイダンスに従い、少なくとも 5 日間は自己隔離し、その後 2 日連続して抗原定性検査 (Lateral Flow Device (LFD)) で陰性判定となるまで他者との接触を避けるよう推奨される。Cabinet Office, *op.cit.*(2), p.16.

<sup>11</sup> The Statutory Sick Pay (General) Regulations 1982 No.894. <<https://www.legislation.gov.uk/ukksi/1982/894/contents>>

<sup>12</sup> The Statutory Sick Pay (Coronavirus) (Suspension of Waiting Days and General Amendment) Regulations 2020. No. 374. <<https://www.legislation.gov.uk/ukksi/2020/374/contents>>

<sup>13</sup> The Employment and Support Allowance and Universal Credit (Coronavirus Disease) Regulations 2020. No.289. <<https://www.legislation.gov.uk/ukksi/2020/289/contents>>

<sup>14</sup> Social Security and Housing Benefits Act 1982 c.24. <<https://www.legislation.gov.uk/ukpga/1982/24/contents>>

<sup>15</sup> Welfare Reform Act 2007 c.5. <<https://www.legislation.gov.uk/ukpga/2007/5/contents>>

<sup>16</sup> The Health and Social Care Act 2008 (Regulated Activities) (Amendment) (Coronavirus) Regulations 2021. No.891. <<https://www.legislation.gov.uk/ukksi/2021/891/contents/made>>

<sup>17</sup> The Health Protection (Coronavirus, International Travel and Operator Liability) (England) Regulations 2021. No.582. <<https://www.legislation.gov.uk/ukksi/2021/582/contents>>

<sup>18</sup> Coronavirus Act 2020 c.7. <<https://www.legislation.gov.uk/ukpga/2020/7/contents>> ほとんどの規定 (全 102 か条 29 附則中 88 か条 21 附則) が制定日と同日に施行された。詳細は、芦田淳「【イギリス】コロナウイルス法の制定」『外国の立法』No.284-1, 2020.7, pp.4-5. <[https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_11512838\\_po\\_02840102.pdf?contentNo=1](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11512838_po_02840102.pdf?contentNo=1)> を参照。